

■ 幹事会社・幹事のメリットと役割（QC サークル本部発行『QC サークル運営実務ノート』より）

QC サークル京浜地区の活動は、幹事会社により企画・運営が行われております。

幹事会社として会社が得るメリット	幹事会社としての自覚は、社内の QC サークル活動に刺激を与えると共に幹事はもちろんリーダー、メンバーも幹事会社としての誇りと自信を持てる
	支部・地区活動を通じて自社幹部の教育となり、QC サークル活動の土壌づくりに栢極的になる。また、QC サークル活動の評価が高まり TQM 活動など全社活動にも寄与できる→企業の業績につながる
	支部・地区活動を通じて QC サークル活動の方針がより允実し、自社の QC サークル活動を自信をもって進められるようになる。また、自社の活動の反省ができる
	他社、異業種との接触が広まり、それを業務にも役立てることができる。そして、自社の地域社会への貢献の意識が助長される
	QC サークル交流会がやりやすくなり、他社の良い点を導入できる。また、同一業種に限らず広い分野で他社との交流ができる
	会社として支部・地区行事の運営方法などを取り入れることができる
	自社の QC サークル活動が PR できて、社員のモラルアップに寄与できる
	自社の PR ができイメージアップに役立つ
幹事自身が見るメリット	幹事相互の交流を深めることにより、幹事相互の人間関係を醸成し、自己啓発、相互啓発ができ、リーダーシップが養成される
	地域の会社と接触して多くの情報、知識を得ることができ、地域社会へ貢献する喜びが生じる。また、多くの企業の人たちと接して社会的・人間的視野が広まる
	支部・地区行事の役割を達成するための過程において自己啓発ができる。そして、多くの QC サークル体験談を聞いたり評価したりして、QC サークル活動を身につけ、良否の尺度を学び、社内での進め方に活用できる
	QC サークル大会などの行事に参画して、講評、討論会、講演などを多く聴取し相互啓発することにより、自己啓発やレベルアップができる。例えば、話し方や報告のまとめ方などが習得できる。そして幹事自身が講評・司会・パネル討論会のパネラーなどができるようになる
	幹事研修会、企業（職場）見学、研修会などに参画して、他社の QC サークル活動の運営方法、品質管理の実施状況などを知ることができる。また、社内外の QC サークル活動の指導がうまくでき、交流会などの進め方も身につく
	QC サークル支部・地区活動のみならず、本部をはじめ全国の活動状況や様子が把握できる
	支部・地区行事の事務局や企画運営委員を担当して、企画・運営の能力を高めることができる
	行事に参加した人たちからの相談や質問に応じて、他社のいろいろの事情を知ることができると共に、仲間意識が芽生える
	QC サークル指導士資格要件の1つが得られる